

# 第218回徳成寺 寺ともサービスデー 福祉講座「小笠原先生のにんげんはおもしろい」



著書：「医への想いしなやかに」医学書院  
「いのちを支える」四国新聞社。  
「いのちばんざい」高知新聞社。  
「百歳との握手」(コスモス)  
「いのちの仕舞い」(春陽堂)  
「診療所の窓辺から」(ナカニシヤ出版)  
「診療所の窓辺から」をスタイルアサヒ  
に連載中  
「聴診器の向こう側」(看護の科学新社)  
「大河のつばゆき」(自費出版)

おがさわら のぞみ  
講師紹介：小笠原 望 医師

昭和26年 高知県土佐市生れ  
昭和51年 弘前大学医学部卒  
同年 徳島大学第一内科入局  
昭和52年 高松赤十字病院内科勤務  
昭和63年 同病院神経内科部長  
平成9年 大野内科副院長(旧中村市)  
平成12年 同院長  
平成17年 医療法人 関(とぎ)の会  
大野内科院長(四万十市)  
平成30年 1月よりドキュメンタリー映画  
「四万十～いのちの仕舞い～」を全国で上映中。  
平成31年 同 医師 田舎のかかりつけ医として  
訪問診療、神経難病、こころのケアに白髪のゲリラ  
医者として奮闘中。

9月7日(日)午後1時半頃～

高松市 番町 徳成寺 一般聴講は要予約 821-6348

残暑厳しき折ですが、小笠原先生のお話にも耳を傾けてみませんか。先生から「臨床の中で、ずっと人間を見てきました。それぞれの人に個性があり、病気もそれぞれです。老い方もそれぞれ、こころも不安になったり落ち込んだり、いろいろありながら日々が回ってゆきます。私の出会ったいろいろな人の話を通じて、にんげんの持つ面白さをお話ししようと思います。」というメッセージを頂いています。ぜひ皆さんお誘い合わせの上、ご参加下さいませ。お申込みお待ちしております。